

令和 4 年度事業報告

1 令和 4 年度事業総括

9月に法人を設立し、一年目となる事業年度は公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会（以下 SYAA とする）との協働事業に重点的に取り組んだ。

2020年6月より SYAA が実施してきた子ども・若者の居場所「いとこんち」事業では、近隣住民から食料や日用品などの寄贈を受けるなど、地域における子育て応援の機運が高まりを見せている。2022年には空き家の提供の申し出を受けるに至り、子ども・若者と地域住民の交流を目的とした「ひとてま」事業が開始した。

当法人は SYAA と協働で「いとこんち」と「ひとてま」を運営しながら、これら 2 拠点で出会った子ども・若者から寄せられる夜間の相談対応や、拠点周辺の保育園が主催する週末行事への参加など、SYAA の職員体制では必ずしも行き届かない範囲を担った。

結果として、子ども・若者・親・地域との出会いが新たなニーズとなり、それに応える形で、子育て世帯への食料品配布（フードパントリー）や、シングルマザーを対象とした就労支援（CAD 実習訓練）など、急きょ事業化するに至った。

今後も支援対象が拡大することを想定し、緊急かつ実効的な援助を要するほどの困窮世帯への対応に備えるため、経済給付のあり方について、SYAA から当法人への委託を受けて全国的な調査を行った。

以上のように、SYAA の強みである強固な事業基盤と、当法人の強みである機敏性（柔軟性）とを生かし合う、パートナーシップ型の事業展開が令和 4 年度の最大の成果と言える。

一方で、急速な事業展開に対して組織体制が追い付いていない点が大きな課題である。

2 事業実施報告（詳細は別紙）

- ①一般社団法人ソーシャルペダゴジーネットの事務局運営
- ②子ども・若者の居場所「いとこんち」の協働運営
- ③みんなの休憩処「ひとてま」の協働運営
- ④子育て世帯への生活支援事業